

会計を活用した 複数価値創造のマネジメントモデル

学術研究院社会文化科学学域(経済) 天王寺谷 達将

- 企業は、経済・環境・社会価値のバランス良い創造(＝複数価値創造)を目指す主体であるが、そのマネジメント方法に関する知見の蓄積は少ない。
- 本研究は、数値の影響力を活かした複数価値創造のマネジメントモデルの実践への適用とその効果の検証を目指している。

複数価値創造のマネジメントモデルの必要性

—企業の目的：パーパス、理念、ビジョン

※それぞれの組織が、複数価値創造を目標に設定

しかし、その目標の実現方法に関する知見は限定

—数値の影響力に着目したマネジメントモデルの提案

「会計」

＝集めて（会）数える（計）行為：数値を生み出す

なぜ数値は影響力を持つのか？

①「離れた場所から対象をマネジメントする力」を持つ

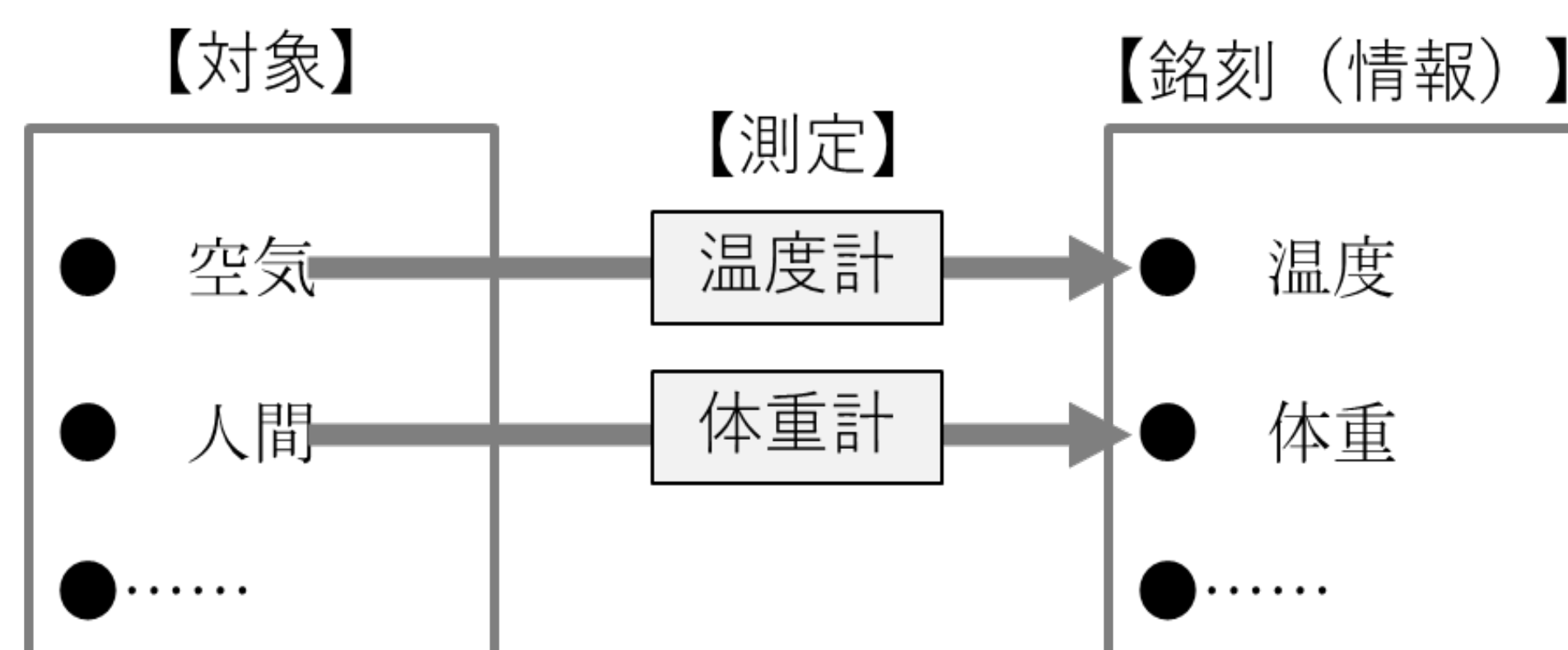
②「判断を容易にする力」を持つ



会計は数値を作り出す
数値は人間の行動を変える

経済価値・環境価値・社会価値を
バランスよく創造することが、企業には求められている。
その実現に向けて、会計を使った理論的な枠組みを提示する。

中央経済社



①数値は、
対象の写像で、
蓄積可能（可動性・安定性・結合可能性）

(インプット)

【対象】
人間

決められた測定プロセス

(アウトプット)

【数値】
身長・体重

数値を生み出す測定プロセス
の客観性・普遍性が高い

信頼性が高い

②数値は、
対象を序列化し、信頼性が高い
※会計は、決められた測定プロセス
で数値を生み出す

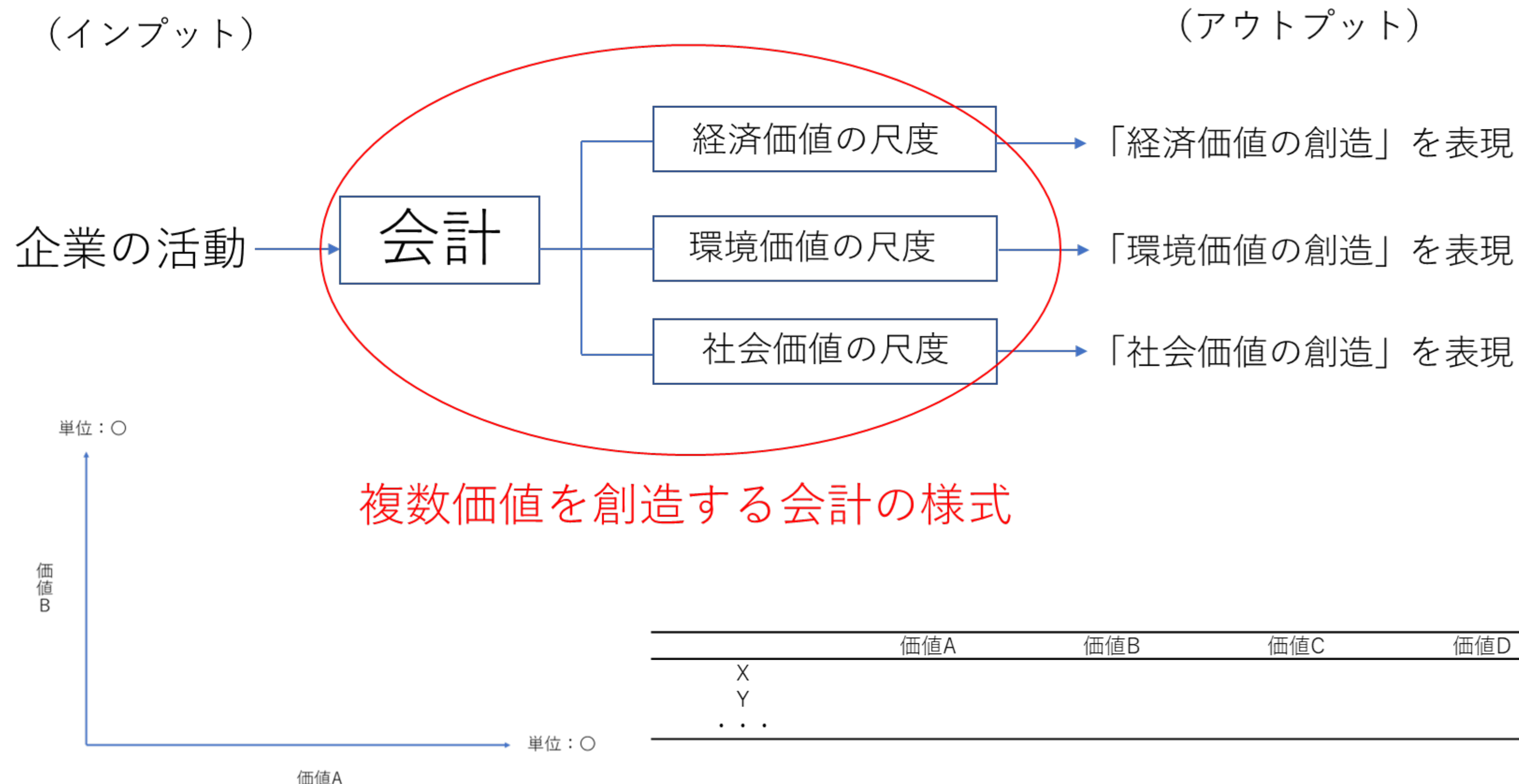


OKAYAMA UNIVERSITY

複数価値を創造する会計の「設計」

—数値は尺度を通じて生み出され、尺度は価値を規定するため、**複数価値を表現するためには複数の尺度（複数軸）が必要**

※貨幣情報の影響力は大きく、その活用は、複数価値創造を促進する。ただし、貨幣情報のみを利用した場合、経済価値以外の価値は、経済価値に従属した形で創造されることになる。



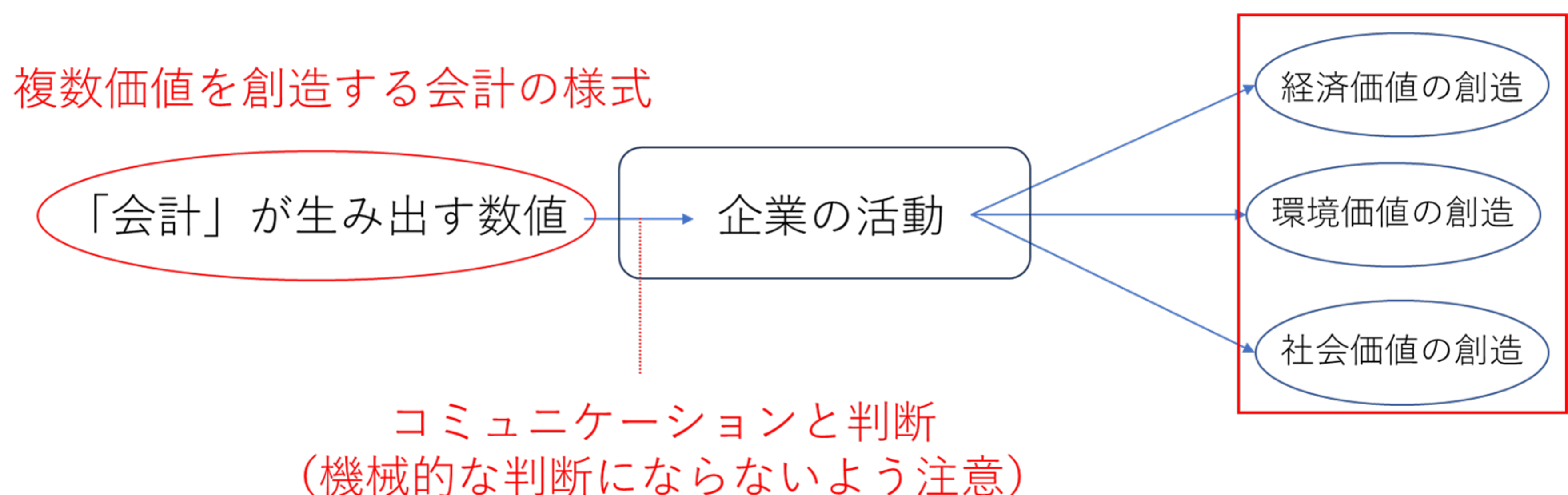
複数価値を創造する会計の様式

複数価値を創造する会計の「活用」

—数値を生み出すプロセスにおいては、様々な情報が喪失する：**数値による機械的な判断は危険**

—価値創造プロセスにおける判断は、数値をきっかけとするコミュニケーションを経てなされることが重要

バランスよく実現



産業界へのアピールポイント・想定される用途

- 本マネジメントモデルは、複数価値創造を目指す全組織において適用可能：適用の効果・問題等の考察（共同研究）

